

## 第2回津別町議会定例会『行政報告』

本日ここに第2回定例会を招集いたしましたところ、議員各位には極めてご多忙のところご出席賜り、厚く御礼申し上げます。

ただいま発言のお許しをいただきましたので、1月臨時会後の行政報告を申し上げます。

はじめに、第11回「わが村は美しくー北海道」運動コンクールにおける受賞についてであります。このコンクールは、農山漁村の振興に寄与することを目指し、北海道開発局が主催するもので、1月19日に審査結果が発表され、NPO法人津別町手をつなぐ育成会の「つべつ豆のわ！！プロジェクト」が奨励賞を受賞いたしました。

このプロジェクトは、農家の女性たちが味噌を作り、道の駅で販売していた事業を地域の方々の協力のもと、福祉事業所が継続して行っていることが評価されたものであります。

この受賞に対し、お祝いを申し上げますとともに、今後も安全・安心で良質な手作り味噌の生産を通じ、更なるご活躍に期待するものであります。

次に、能登半島地震被災地への職員派遣についてであります。

震災復旧支援のため、南アルプス市の姉妹都市である石川県穴水町へ2月9日から2月15日の日程で、南アルプス市職員とともに防災危機管理室長と建築技師の2名を派遣し、2月16日無事帰町しました。現地での主な活動は、余震が続く中、地震により被害を受けた町道の測量業務に従事し、また、上下水道が完全に復旧していないなど、甚大な被害状況について報告を受けたところであります。

今後、第2班として職員2名を南アルプス市職員とともに、3月10日から3月16日の日程で追加派遣することとしており、被災された方々の日常生活を取り戻すまでには相当な時間がかかると思われませんが、一日も早い復興に向け支援を継続していく考えであります。

次に、北海道副知事の津別町来訪についてであります。浦本<sup>もとひと</sup>元人副知事が2月9日に清里町、小清水町を訪問した後、昨年完成した丸玉木材株式会社のシラカバ合板ラインを視察するため、津別町に来訪されました。

その後、大空町のホテル山水において、浦本副知事と北網地区市町村長との意見交換会が開催され、本町からは農業農村整備事業の予算の確保と、道道屈斜路津別線の市街地区拡幅整備について要請いたしました。

次に、企業版ふるさと納税についてであります。伊藤忠建材株式会社様より、2月13日に寄附金を受領いたしました。ご希望により金額の公表は差し控えさせていただきますが、3月11日に役場庁舎において感謝状の贈呈式を執り行う予定であります。

また、2月29日にはホクレン農業協同組合連合会様から、寄附金100万円を受領いたしました。

ご厚志に深く感謝を申し上げますとともに、寄附金につきましては、地方創生の取組に活用させていただく所存であります。

次に、国立公園編入に係る要望書の提出についてであります。観光施策として上里地区の一部を阿寒摩周国立公園に編入されるよう働きかけを行ってきたところですが、1月下旬に環境省阿寒摩周国立公園管理事務所より、国立公園拡張調査の実施状況と指定区域についての概要説明等があり、一定程度事務が執り進められていることをお聞きしたところです。

この説明を受け、町の国立公園編入に対する要望を改めて伝えるため、2月14日に環境省釧路自然環境事務所長へ、2月19日には林野庁北海道森林管理局網走南部森林管理署長へそれぞれ要望書を提出いたしました。引き続き、上里地区の国立公園編入に向け、関係機関へ働きかけを行って参る所存であります。

次に、津別町ゼロカーボンシティ宣言の表明についてであります  
が、本町は、面積の約86%を広大な森林に囲まれ、林業・林産業  
が町の基幹産業として形成してきたことから、全町民が自然を守り  
育て、豊かな郷土の未来を築き、広く社会に貢献して行くため「愛  
林のまち」を昭和57年に宣言し、緑豊かな森林の維持、保全に努  
めてきたところです。

平成19年には、資源循環型の地域づくりを行うため、津別町バ  
イオマスタウン構想を策定し、森林資源の循環により森林を保全し、  
林業の再生と環境保全型の地域循環社会を目指し、地域内での森林  
資源を持続的に活用して、エネルギーの地産地消を目指す地域内エ  
コシステムの取組を進めて参りました。

現在、地球を取り巻く環境問題は、「愛林のまち」宣言を行った昭  
和57年から更に深刻な状況になっており、世界規模での課題であ  
る気候変動問題の解決に向け、世界共通の長期目標が掲げられてい  
るところです。日本においては、2020年10月に2050年ま  
でに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュー  
トラルを目指すことを宣言したところです。

本町は、これまでの環境への取組の一層の推進を図り、将来にお  
たって豊かな森林資源を守り、持続可能な地域づくりを進めていく

とともに、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言いたします。

次に、**建設工事等の発注状況**についてであります。2月26日現在、

- 一般土木工事関係については、27件  
311,531千円（100.0%）
- 一般建築工事関係については、25件  
187,215千円（100.0%）
- 簡易水道・下水道工事関係については、10件  
233,409千円（100.0%）
- 設計等委託業務関係については、30件  
124,874千円（100.0%）

であり、令和5年度予算分について総額857,029千円で100.0%の発注率となっており、すべての発注を終了しております。

なお、今議会におきまして、条例制定、補正予算及び新年度予算等の議案を提出いたしますので、慎重にご審議の上、原案にご協賛賜りますようお願い申し上げ行政報告といたします。